

第6回教育委員会臨時会議事要録

詳細 教育総務部教育総務課 電話03-3981-1141

附属機関又は 会議体の名称		教育委員会臨時会
事務局（担当課）		教育総務部教育総務課
開催日時		平成19年6月26日 午後3時00分
開催場所		教育委員会室
出席者	委員	三神 和子（委員長）、松木 正一（委員長職務代理者）、 月岡 透、中島 章皓、日高 芳一（教育長）
	その他	教育総務部長、教育総務課長、学校運営課長、教育指導課長、 教育改革担当課長、統括指導主事
	事務局	教育総務課庶務係長、教育総務課庶務係主事
公開の可否		公開 傍聴人数 0人
非公開・一部公開の 場合は、その理由		
会議次第		<ol style="list-style-type: none"> 1. 報告事項 平成18年度区立小・中学校卒業生設置者別進路先 一覧（概況） 2. 報告事項 平成18年度「児童・生徒の学力向上を図るための 調査」の結果について 3. 報告事項 平成19年度校長選考、教育管理職選考、主幹選考 の有資格者および申込者の状況

審議経過

委員長)

第6回教育委員会臨時会を開きます。本日の署名は松木委員と中島委員にお願いいたします。

(1) 報告事項第1号 平成18年度区立小・中学校卒業生設置者別進路先一覧(概況)

<教育指導課長 資料説明>

委員長)

ご質問をお願いします。

教育長)

立教池袋高校には豊島区で3名以内の推薦枠がありますが、18年度の進学者はこの推薦枠の生徒でしょうか。

教育指導課長)

一般の生徒です。18年度に推薦枠は使われませんでした。

委員長)

条件はあると思いますが、着実に実績を残さないと良好な関係を築けなくなる恐れがあります。

教育指導課長)

その点に関しましては、校長会でも情報提供し、進路指導の体制を充実していきます。

委員)

不登校の生徒が入学できるチャレンジスクールという学校があるそうですね。

教育指導課長)

本票にある桐が丘、六本木、大江戸の都立3校は、チャレンジスクールという、総合学科の単位制高等学校です。都立高校改革で生まれた学校で、学力試験はなく作文と面接の選考により不登校の生徒も入学できます。本区からは10名以上が進学していますが、倍率が非常に高くなっており、生徒達が意志を強く持って取り組んだ結果の表れだと思います。

委員)

学校によって進学先に養護学校が多いのは何故ですか。

教育指導課長)

特別支援学級の設置校であることが理由です。巣鴨北中、西池袋中、西巣鴨中は、知的障害のある生徒の進学先も一覧に含めています。また、小学校も同様に、特別支援学級を設置している西巣鴨小と要小では、障害の程度が比較的重い児童が、就学相談での判断をもとに養護学校に進学しています。

委員)

九段高校はまだ都立に入っているのですか。豊島区の中学卒業生も進学できますか。

教育指導課長)

18年度より区立の中等教育学校となりました、高校時の入学はありません。白鷗や両国のような中高一貫教育校併設型の場合は若干名の募集があります。中学入学時については区外からの生徒も受け入れており、本区からも1名進学しています。

委員)

スポーツ枠や推薦枠がある学校はありますか。

教育指導課長)

一部の学校で設けられています。

委員長)

各中学校のホームページに、推薦枠のある高校名を掲載して、関心を高めるのも案だと思えます。

教育指導課長)

公立中学校ですので、そのような掲載は難しいと思います。豊島区における進路先や過去の推薦実績を示す程度であれば可能かと思えます。

委員長)

一覧の中には、あまり名前に馴染みがない私立中学校もありますが、どうやって見つけているのですか。担任が指導していますか。

教育指導課長)

進学指導といっても本人や保護者の希望が優先されますので、小学校の段階では、受験校の特定の指導は行っていません。

委員長)

学校案内のパンフレットがよく送られてくると思いますが、小学校ではどのような処理をしていますか？

委員)

私が勤務していた中学校では進路指導室にパンフレットを設置しておいて、自由に閲覧するようになっていました。特定の生徒に配布するようなことはしていませんでした。

教育指導課長)

都立校に関しては、説明会案内の配付依頼を受けています。私立校に関しては、全部に対応しきれないため、基本的には依頼に応じていません。児童は塾等で情報を入手しているのが実情です。

教育総務部長)

塾に通っている児童の数は把握しておりませんが、中学の難関校を受験する児童の多くは塾で情報を得ていると思います。

統括指導主事)

以前は、受験の際に担任が内申書を書いていましたが、5・6年程前からは受験しやすいように、試験のみで選考する学校が増えました。現在は、担任も誰がいつどこを受験したかを把握するのが難しい状況です。

教育指導課長)

区立中学校も地域の小学校に積極的に宣伝に赴いています。例えば西巢鴨中学校は、昨年、学区の子供達を迎え入れる働きかけをしたところ、地元志向が高まり、今年は入学者が増えています。

委員)

良いことですね。他の校長先生にもそういった努力をお願いしたいと思います。

委員長)

以上でよろしいでしょうか。

(委員全員 報告事項了承)

(2) 報告事項第2号 平成18年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果について

<教育指導課長 資料説明>

委員長)

ご質問ご意見、お願いします。

委員)

資料を見ると、問題自体は基礎・基本であり、できればほとんどの子供が満点に近い点数を取るべき内容のようですね。ただ、進学を希望する子供達の力がどれだけあるか、この結果だけではよくわかりません。また、特別支援学級の子供もテストを受ければ、答えられる問題もあるのではないかとと思いますが、どう考えますか。

教育指導課長)

実施要綱によると、明らかに障害があって通常の学級の学習が困難な状況の子供や、日本語での授業がわからない子供などについては、テスト実施の有無は学校の判断に任せています。豊島区では受験率が小学校で約94.7%、中学校で約95.7%ですので、特別に配慮を要し、テストの趣旨に適さないと判断した未受験の子達が何名かいることは確かです。また、数学が零点の生徒が何名か出ており、数学に対する苦手意識が強く、始めから諦めてしまっている深刻な子供がいると考えられます。一人一人の個票として結果が戻りますので、三者面談等でその子供に応じた個別指導を検討するよう、校長会等で働きかけていきたいと思っています。

委員)

習熟度別で対応してもらっているのですが、正答率の低い子供たちの底上げを図る指導を引き続きお願いしたいと思います。

委員)

零点の生徒が実際にできないのか故意にやらないのか気になるところです。先生方も、時には苦しさを乗り越えられるよう、厳しく鍛える授業をしていただかないとならないと思います。

教育指導課長)

本調査を観点別に分析したところ、中学校では、知識・理解が都の平均より高くなっており、トライアルスクール等の事業の成果の現れかと思えます。一方、表現力が弱いという結果については、授業改善プランを提出するとともに、今年度は指導課訪問の機会を充実させ、指導主事等が学校を訪れ、全授業を見て助言を行います。現在のところ、小学校は全校、中学校でも四校の実施を予定しています。また、進学に不安がある子供達が自主的に学習できるよう、としまアカデミーが開かれます。正答率が低い子供達がとしまアカデミーに参加して学力が向上するように取り組んでいきたいと考えています。

委員長)

意識調査の質問内容が、調査の趣旨とずれているように感じます。現場の方々はどう考えているのでしょうか。

教育指導課長)

生活習慣と学力との関連性を見るためと考えられます。この調査結果によって、家庭生活を見直すという意義があると思えます。

委員長)

豊島区の子供にとって学習の動機づけとなる意識は何かということをもっと考えてほしいと思えます。

教育指導課長)

学習につまずいている子供にも、実際は分かるようになりたいという思いを抱えていると思えますので、心情をしっかりと受け止めて、喜びや成功体験を積み重ねながら学習の動機づけを高めていけるよう、授業改善の助言をしていきたいと思えます。

委員)

意識調査において、中学校は小学校と比べて、社会や人のために役立つ仕事がしたいという生徒や読書時間が少なくなっており、心配です。中学では、先生方が専門性を発揮して能力を伸ばす教育を行ってほしいと思えます。

教育指導課長)

中学生になると、素直な回答をためらったり、自己を過小評価する子供達も増えてきますので、単純に小中で比較するのは難しいと思えます。ただ、生活習慣等に多少課題が増えてくるのは事実ですので、意欲的な生活が過ごせるよう、生徒と向き合う指導を行っていきたいと思えます。

委員)

先生方には真剣にこの資料を読み取り、子供への接し方や授業の改善に励んでいただくよう希望します。

教育指導課長)

主任研修会や学校訪問等で、改善の必要性を伝えていきます。

教育長)

現場には主体としてこの結果をしっかり受け止め、校長には副校長や主任も交えて改善計画を立てていただき、全ての教員に周知して行ってほしいと思えます。基礎基本の問題

が出来ないのは大きな課題です。現在、中学校では少人数指導を行っていますが、できる子は伸ばし、できない子は基礎から教える、能力別で分ける指導を保護者の方々にも理解していただきたいと思います。差別や格差ではなく、子供達の将来のために集団を作り直す、子供がわからないところがわかるようになるシステム作りが必要です。また、子ども達に個票を返す際のアドバイスが非常に重要ですので、担任の先生方には十分考慮していただきたいと思います。

委員)

としまアカデミーについては、今年度でぜひ実績を出していただき、来年度は通年で、且つ小学校にも拡げていただきたいと思います。

委員長)

他にご意見ありますか。よろしいでしょうか。

(委員全員 報告事項了承)

(3) 報告事項第3号 平成19年度校長選考、教育管理職選考、主幹選考の有資格者および申込者の状況

<教育指導課長 資料説明>

委員)

中学校で女性の申込者が一人も出てきていませんが、もう少し女性校長が増えたほうがよいと思いますので、ぜひ掘り起こしをお願いします。

教育指導課長)

確かに女性管理職の数は少ないので、校長に呼びかけたいと思います。

委員長)

女性で出産・育児等のため受験しにくいという状況はありますか。

教育指導課長)

受験しない理由を聞くと、子育ての他にも介護事情があり、説得しづらいと聞いています。校長に育成計画を立ててもらっておりますので、その中で働きかけを行うようにしたいと思います。

委員長)

他によろしいでしょうか。

(委員全員 報告事項了承)

(午後4時55分 閉会)